

## 施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

### ⚠ 取付に関する注意

	<p>バルブは高流量タイプ(最大約8 gpm)で、1アウトレットのみ使用時は最大約7 gpm の流量が得られます。配管径・給水圧に合わせた設計が必要です。</p>		<p>パネルの中央ノブ(温度調整)および各シャワーボタン(流量調整)以外の部分を工具等でこじらないでください。仕上げの損傷や防水性能低下の原因になります。</p>
	<p>バルブには止水栓とフィルターが内蔵されています。施工時・保守時は必ず取扱説明書に従って操作してください。</p>		<p>本製品の取り付けは、必ず有資格の専門業者に依頼してください。誤った施工は、落下や漏水の原因になります。</p>
	<p>バルブには、調整可能な高温制限ストップ機能が組み込まれています。施工時に最大温度を適切に設定し、必要以上に高温にならないようにしてください。</p>		

### ⚠ 使用に関する注意

	<p>本製品は、アンセム 2口メカニカルサーモスタットバルブ専用の2アウトレット用コントロールパネルです。必ず指定バルブと組み合わせて使用してください。</p>		<p>シンナー・塗料・強酸/強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。</p>
	<p>高温のお湯を使用する場合は、別途接続される混合水栓・サーモスタットの取扱説明書に従い、やけどをしない温度に設定してください。特に高齢者やお子様を使用する際は、必ず保護者が確認してください。</p>		<p>「コンフォート設定」は約40°Cを基準として出荷時にプリセットされていますが、実際の温度は給水条件により変動します。必ず体感で確認してから使用してください。</p>
	<p>バルブや配管をユーザーが分解・改造しないでください。改造は故障・漏水・火傷の原因となり、保証対象外となります。</p>		<p>ボタンやノブが極端に固い、回らない、異音がある、温度が安定しないなどの異常がある場合は、すぐに使用を中止し、止水栓で給水を止めたくて施工業者・販売店に点検を依頼してください。</p>

### 必要工具および現場手配品



**⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。**

やけどの危険があります。水温が高いと重度のやけどを引き起こす可能性があります。バルブの水温は49°C以下に設定してください。

バルブの温度調整手順を参照してください。

地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。

**流量調整器の取付 (必要な場合)**

※最高温度を調整する必要がなかった場合は、次の手順に進みます。

- ・コントロールノブからキャップを外します。
- ・ネジとコントロールノブを取り外します。
- ・ステムドライブをコントロールノブから分離します。
- ・ステムドライブをサーモスタットカートリッジシステムに再度取り付けます。
- ・コントロールノブのネジでステムドライブを固定します。
- ・9/32 インチのシャワーレンチを使用して固定ナットを外し、サーモスタットカートリッジを取り外します。
- ・図のようにフローレギュレータを配置します。
- ・必要に応じて、ピックまたはドライバーを使用してフローレギュレータを配置し、所定の位置に押し込みます。
- ・サーモスタットカートリッジのタブをバルブ内のスロットに合わせます。サーモスタットカートリッジを元に戻します。
- ・コントロールノブを再度取り付けるには、手順を逆に実行します。

**1 下地の設置**

※取り付けプレートの良行きは、仕上げ壁の目標範囲に基づいて計画してください。最大良行きが76 mmを超える場合は、より長いパイプニップルをご用意ください。

バルブ設置場所の壁の厚さに応じて適切な深さに2x4材を配置し、2x4材の間隔は51 ~ 76 mmとします。

エルボを取り付けプレートを、必要に応じて上向きまたは下向きに配置します。

付属のナットを使用してエルボを取り付けプレートに固定してください。

**2 取り付けプレートの取付**

木ネジを使用して取り付けプレートを下地に固定し、給湯管を左側のエルボに冷水管を右側のエルボに接続します。

石膏ボードガードをエルボの上にはめ込み、完成した壁を取り付けます。

仕上げられた壁と同じ高さになるように石膏ボードガードを切り取ります。

**3 アダプタの取付準備**

各パイプニップルの両端にねじシーラントテープを貼り、供給エルボにねじ込みます。

水の供給をオンにして、ゴミを洗い流します。

**4 アダプタの取付**

損傷を防ぐために、アダプタからOリングを取り外してパイプニップルにねじ込みます。

シャワーバルブレンチを使用してアダプタを固定してください。

**5 バルブの取付**

完成した壁からアダプタの端までの距離が30 ~ 43 mmの間であることを確認します。

Oリングに潤滑剤を塗り、アダプタに再度取り付けます。

バルブ背面のポートをアダプタに合わせてバルブをアダプタに押し込んでください。

その後止めネジを使用してバルブをアダプタに固定します。

各止めネジの上にプラグを取り付けてください。

※バルブの寸法が30 ~ 40 mmの間である場合は、バルブを安定させるために各アダプタにスプリットリングを取り付けてください。寸法が40 ~ 43 mmの間である場合は、スプリットリングを使用しないでください。

**6 ブラケットの墨出し**

バルブから2つの保護カバーを取り外してください。

カラムをバルブのフィッティングの上に配置します。

両側の位置を水平にしてマークします。

墨出し後ブラケットを取り外してください。

**7 ブラケットの取付**

マークした線の間にブラケットを壁に配置し、穴の位置をマークします。

壁に合わせたアンカーを取り付けて、ブラケットを2本のネジで固定します。

※スタッドに取り付ける場合は、約3.2mmの穴を開けてください。

乾式壁に取り付ける場合は、約8mmの穴を開けてください。

セラミックタイルに取り付ける場合は、約6.4mmの穴を開けてください。

**8 柱の取付**

2つの止めネジを使用してマウントをブラケットに固定します。

柱の高さを調整し、調整ナットを固定します。

トリムコンポーネントをマウントに取り付けます。

製造元の指示に従ってシャワーヘッドとハンドシャワーを取り付けてください。

**9 水温を確認**

コントロールノブのバイパスボタンを押しながら、ノブが止まるまで反時計回りに回します。

いずれかの出口ボタンを押して水をオンにします。

水温を安定させるために、数分間水を流し続けてください。

温度計を水流の中に入れ、温度を確認します。

水温が49°Cを超える場合は、水を止めてください。次ページの10高温制限の調整に進んでください。

**⚠ 怪我の危険があります。水温を高く設定しすぎると、やけどをする恐れがあります。水温は49°C以上に設定しないでください。**

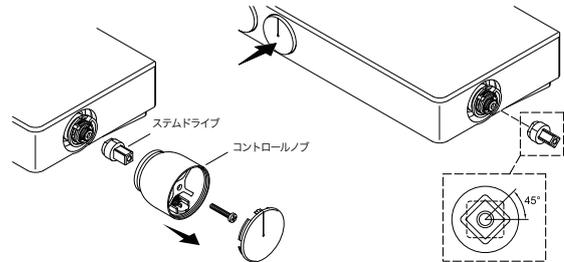
### 必要工具および現場手配品



### 10 高温制限を調整する

※次の手順は、高温制限停止位置の水温が低すぎる場合、または49°Cを超える場合にのみ必要です。

- ・コントロールノブからキャップを外します。
- ・ネジとコントロールノブを取り外します。
- ・ステムドライブをコントロールノブから分離します。
- ・いずれかの出口ボタンを押して水をオンにします。
- ・温度計を水流の中に入れ、温度を確認します。
- ・ステムドライブをカートリッジシステム上に配置します。
- ・温度調節はステムドライブを回して行います。反時計回りに回すと温度が下がり、時計回りに回すと温度が上がります。49°Cを超えないようにしてください。
- ・水を止めてください。
- ・ステムドライブを取り外し、バルブ上に45度で再配置します。
- ・コントロールノブをステムドライブに押し付けながら、コントロールノブのバイパスボタンを押します。
- ・コントロールノブの操作が適切であることを確認します。
- ・コントロールノブをネジで固定します。
- ・コントロールノブにキャップを取り付けます。



### スクリーンのクリーニング

※カートリッジはどちらのバルブポートでも交換可能です。

- ・バルブへの給水をオフにします。
- ・バルブの下部からカバーを取り外します。
- ・カートリッジをバルブから外します。
- ・フィルタースクリーンに付着したゴミを洗い流します。
- ・チェックバルブとリングを点検し、必要に応じて交換してください。
- ・カートリッジを再度取り付けます。
- ・カバーをバルブの底部に再度取り付けます。
- ・バルブへの給水をオンにします。

